

第2回 各務原市新庁舎の機能を考える市民ワークショップ 議事要旨

日 時：2015年8月3日（月）及び8月7日（金）午後1時～3時30分

場 所：本庁舎4階大会議室（東）

出席者：14名（3日）、5名（7日）

各務原市：加藤管財課長、管財課 永井主幹、小林（広）、小林（伸）、領木、片桐
パシフィックコンサルタンツ株式会社：小野崎（3日）、酒本（7日）、近藤、鈴木（3日）

傍聴者：なし

（1）次第

開会

1. 前回のふりかえり
2. 見学のポイント
3. 本庁舎見学
4. 意見交換

閉会

（2）参加者：班構成（五十音順）

3日（13名、補助1名）		7日（5名、補助2名）
安達 則行	足立 日出男	小川 清
加藤 琢磨	中村 有希	末松 誠榮
柴山 拓治	花田 澄子	新田 紀子
高島 邦枝	溝口 廣美	馬場 忠久
玉置 実三郎	※補助者1名	横山 節男
野中 好子	水野 岳男	※手話通訳2名
山本 光枝	山本 吉雄	

（3）意見のまとめ

1. 外観についての意見・提案

- ・当時は良い建物だったが、時代を感じる
- ・市外の人にも市民にもわかりやすいデザインがよい
- ・新庁舎には、各務原市らしい何かを導入
- ・庁舎は市のシンボルである

2. 外周りに関する意見・提案

- 駐車場

- ・現状は不合理な形である
- ・車椅子の方が濡れないような配慮をしてほしい
- ・建物の北側にあればよいのではないか
- ・駐車場の収容台数を考え、200台は確保したほうがよい
- ・地下駐車場も検討してはどうか
- ・地下も有効活用してはどうか

●噴水

- ・夏は庁舎内で冷房を使用するため、電気代の関係で止めている。景観的には涼しげで良いので、風力で補えないか

3. 庁舎内についての意見・提案

●全体

① 構造面

- ・柱の本数が多いため、部屋割りの柔軟性に欠ける
- ・庁舎の形が合理的ではない
- ・階段が中心に2ヶ所あるが、火災の時の逃げ場がない
- ・建設当初は障がい者、車いす対応になっていなかった
- ・段差が多い
- ・段差が少ないか、段差がない庁舎へ
- ・これからは障がい者・高齢者も考えた庁舎へ

② レイアウト

- ・全体的にスペースがせまい
- ・書類が通路にでている
- ・壁画はよいが、導線上よくない
- ・オープンな雰囲気にしてほしい
- ・もっとオープンな配置がよい
- ・運営面も含めてもっとオープンな庁舎に
- ・オープンな会議室にしてほしい
- ・合理的な配置
- ・目的地まで行きやすい配置
- ・入口から目的地までの導線を合理的にする
- ・スペースにゆとりをもたせる
- ・1階を中心にきれいにしてほしい

③ 内装

- ・全体的に色合いが渋い。今はもっと明るいほうがよい
- ・床がずいぶん黒くなっている

④ 階段・エレベーターなど

- ・階段に手すりが片側にしかない
- ・階段の手すりが片方しかない
- ・階段の勾配が急
- ・階段が暗くて危険
- ・階段を使いやすい設計

- ・階段を使いたくなるような配置、デザイン
- ・階段の段差を低くする工夫をしてほしい
- ・エレベーターが狭いと思う。間口が狭い
- ・エレベーターの数も少ないのではないか
- ・エレベーターは全体で4つはほしい
- ・エレベーターに音声案内があるとよい
- ・エレベーターは1つだけは車いす対応とし、広いものを設置してほしい

⑤ 照明

- ・節電のためか、そもそも暗いのか、どちらか分からない
- ・光を取り入れる配置にしてほしい
- ・人が入ると点く人感センサーがよいのではないか
- ・利便性のあるところに人感センサーを設置する

●案内・サイン

① 総合案内

- ・総合案内の場所がわかりにくい。正面にあるべき
- ・場所がよくない
- ・総合案内が、入口を入れて横にあるので気づきにくい
- ・分かりづらい
- ・見にくい
- ・ここから広がる感じがしない
- ・入って正面がよい
- ・誘導ブロックの位置、分岐がない、受付やエレベーターまでつながっていない
- ・総合案内を目につきやすいところへ
- ・入口入ってすぐに大きな案内があるとよい
- ・点字ブロックは入口から総合案内へつながるようにしてほしい

② 案内板・サイン

- ・案内板に点字がない
- ・総合的に案内が少ない
- ・各階の案内板に点字がない
- ・サインが小さくて見づらい
- ・障がい者にやさしくない
- ・案内板に点字がない
- ・色分けされているが、目の悪い人は分かりにくい
- ・色別に矢印があるが、高齢者や視覚障がい者には見づらい
- ・色分けだけではなく分かりやすい方法を

●部署の配置

① 全体的

- ・専門分野の課には市民はあまり行かない
- ・下水道課が本庁舎にあると思わなかった
- ・利用頻度が多い課を1階にまとめた方がよい

② 福祉関係課

- ・社会福祉課が奥になってわかりづらい
- ・高齢福祉課、福祉総務課はスペースが狭く、プライバシーがない。仕切りもない
- ・福祉関係は分かりやすい場所へ
- ・社会福祉課と高齢福祉課を同じ並びにし、目立つようにすべき
- ・福祉関係課は効率よく配置すべき
- ・福祉関係課は1階の方がよい
- ・福祉関係課のスペースを増やす。ニーズが増えている

③ 市民関係課

- ・まちづくり推進課は市民に近い1～2階にあったほうがよい
- ・一般市民サービスをどうするかを考える
- ・市民課など、例えば窓口を交互にするなど、プライバシーを重視した配置にしてほしい

④ 税関係課

- ・税関係の部署が場所をかなり占めている
- ・市民税課・税務課・資産税課は2階に持っていった方がよい
- ・税務関係を2階へ→2階の福祉関係を1階へ

⑤ 子育て関係課

- ・子育て支援課・社会福祉課付近通路が狭い

●議場

- ・全体的に安っぽい感じがした
- ・傍聴席から見下ろす感じなので、議員さんの顔が見えず誰が誰なのかわからない
- ・傍聴席に行く階段が急で危険であり暗い
- ・薄暗い感じ
- ・傍聴席の仕様を考えたほうがよい
- ・傍聴席は横に広いほうがよいのではないか
- ・大きいモニターをつけるのはどうか
- ・もう少しやわらかい配色がよい
- ・議会の傍聴ももっとオープンがよい

●附帯機能

① ATM

- ・ATMが別々になっている
- ・ATMは同じ場所がわかりやすい
- ・ATMは外にあってもよいのではないか

② 授乳室・キッズスペース

- ・授乳室が奥にあるので、分かりにくい
- ・授乳室の中にダンボールが積んである
- ・授乳室などは子育て支援課のあたりにあるとよい
- ・授乳室は広い方がよい。使う人の立場になって考えてほしい
- ・キッズスペースの必要性。見える安心な場所に

- ・目の行き届く場所にあるとよい
- ・ベビーベッドは作るなら清潔に管理も
- ・キッズスペースを設置し、誰か1人でも見守る人がいるとよいのではないか

③ 食堂・喫茶室

- ・地下の食堂・喫茶室は1階の分かりやすい場所にあるべき
- ・食堂やロビーはもっとオープンで、利用しやすいイメージにしたほうがよい

④ トイレ・洗面

- ・トイレ、手洗いが蛇口式で衛生面もよくない
- ・トイレに段差がある
- ・トイレの手すりは2階だけにしかない
- ・男性用には荷物置き場がない
- ・手洗い、乾燥式もあればよい
- ・トイレは男女とも広めで最先端のトイレにしてほしい
- ・女性用だけでなく、男性用も含め、多目的に利用できるトイレにしてほしい（荷物置き場や乳幼児対応など）
- ・来庁者の多い1階フロアだけでもエアータオルがあるとよい
- ・トイレはすべてバリアフリー対応にする
- ・多目的トイレは各階に設ける
- ・トイレの手すりは障がい者用だけでなく、全てにあるべき
- ・多目的トイレは1階だけでなく、2階にもあったほうがよい
- ・皆が利用するので、来庁者に配慮したトイレを検討すべき
- ・子ども用のトイレも必要

●屋上

- ・防災ヘリが着陸する場がよい

以上